

エフピコ環境基金
通期報告
(2022年10月1日～
2023年3月31日活動分)



エフピコ環境基金
The FP Corp. Environment Fund

助成先一覧

①環境保全

団体名
NPO法人 湘南クリーンエイドフォーラム
認定特定非営利活動法人 神奈川海難救助隊
特定非営利活動法人 チャウス
特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所
特定非営利活動法人 こが里山を守る会
瀬戸内海宇治島クラブ
NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
特定非営利活動法人 宮島ネットワーク

②環境教育・研究

団体名
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
特定非営利活動法人 とす市民活動ネットワーク
認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト
一般社団法人 四日市大学エネルギー環境研究会
NPO法人 SoELa

③「食」課題解決・「食」支援に関わる活動

団体名
特定非営利活動法人 フードバンクさが

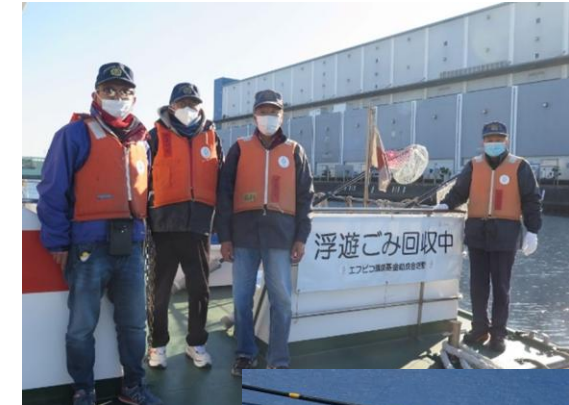
湘南クリーンエイドフォーラム（神奈川県）

助成金額	1,585,000円
活動内容	神奈川県の自然海岸150kmをビーチクリーンして周わる『ビーチクリーン駅伝』と、多くの他団体と連携した湘南エリアでの一斉ビーチクリーン『オール・オーシャンラバーズ・ビーチクリーン』の2つのプロジェクトを推進することで、地域の環境保全を促進すると共に地域で別々に行われているボランティア間にネットワークを形成し、連携した活動をするためのプラットフォームの形成を目指しています。
活動実績	10/1・10/2・10/9・10/15・10/16・10/22・10/23・10/29・10/30・11/5・11/6 ビーチクリーン駅伝・計131名参加 10/6・10/8 ビーチクリーン駅伝の下見・計5名参加 10/10 ビーチクリーン駅伝スタッフ研修会・計2名参加 10/13・11/1・11/24・11/30・12/6・12/8・12/13・12/28・1/12・1/19・1/22・1/27・2/14・2/24 動画製作業者との打合せ・計28名参加 12/4 ビーチクリーン駅伝報告会・8名参加 12/11・1/8・2/12・3/12 プロモーション事業部で一斉ビーチクリーンとホームページ制作の打合せ・計20名参加 3/21 オールオーシャンラバーズビーチクリーン（一斉ビーチクリーン）実施・300名参加 3/21 プロモーション事業部でホームページ作製の打合せ・7名参加



神奈川海難救助隊（神奈川県）

助成金額	920,000円
活動内容	船舶で当隊員が玉網等を使用して、東京湾海域に浮遊するごみ等を回収する活動
活動実績	7回目 10月2日 活動場所：館山港方面 参加人数：7人 浮遊ごみ等回収総量：8kg 8回目 11月6日 活動場所：保田漁港方面 参加人数：7人 浮遊ごみ等回収総量：2.5kg 9回目 12月4日 活動場所：木更津港方面 参加人数：6人 浮遊ごみ等回収総量：23kg 10回目 1月8日 活動場所：横須賀沖方面 参加人数：7人 浮遊ごみ等回収総量：4.8kg 11回目 2月5日 活動場所：東京港方面 参加人数：4人 浮遊ごみ等回収総量：6.5kg 12回目 3月5日 活動場所：木更津港方面 参加人数：6人 浮遊ごみ等回収総量：3.5kg



チャウス（群馬県）

助成金額	824,500円
活動内容	・ピストン釣り教室（川の生物環境調査） ・サケの遡上～サケの卵の配布～育てたサケの稚魚放流 ・ヤマメの卵の配布～育てたヤマメの稚魚放流 ・イワナの親魚又は発眼卵放流
活動実績	8/27 ピストン釣り教室①（川の生物環境調査） 9/17 ピストン釣り教室②（川の生物環境調査） 11/3 ヤマメの卵の配布と川辺のゴミ拾い 11/12 サケの遡上観察と川辺のゴミ拾い 12/3 サケの卵の配布とゴミ拾いと環境学習 12/17 イワナの卵の配布 12/24 イワナの卵の直まき放流と環境学習 2/25 ヤマメの成魚と川辺のゴミ拾い 3/11 ヤマメの稚魚の放流と川辺のゴミ拾い 3/18 イワナの稚魚の放流と環境学習
活動規模	参加者 合計591名



河北潟湖沼研究所（石川県）

助成金額	1,000,000円
活動内容	河北潟流域の水辺のごみ減少、発生抑制を目指し、ごみの発生場所、ごみの内容調査、ごみ拾いを実施し、ごみゼロ河北潟の実現を目指した啓発活動も行う。
活動実績	1. 田んぼの水路のごみ拾い、ゴミ調査 10月23日（日）・11月12日（土）・11月13日（日） 河北潟の南にある大場町の田んぼ排水路、外来植物やその他植物の合間から、ペットボトルや缶、その他食品容器等を拾った。ゴミ袋約20袋となった。 2. 河北潟流域ツアー「ゴミ拾いと野鳥観察」 11月23日 河北潟流域で野鳥観察とゴミ拾いを行った。また、河北郡市のゴミ処理施設エコラも見学し、地域の環境保全について学んだ。 3. 河北潟西部承水路ゴミ調査 12月17日（土）、12月12日（日） 河北潟西部承水路沿い10地点でゴミの状況を記録した。西部承水路岸のゴミの状況の他、河北潟干拓地の農地で、粗大ゴミが不法投棄されている現状も記録することができた。 3. シンポジウム「ゴミに取り組むひとびと」 2月24日（金）／会場：河北郡市広域事務組合3階研修室 河北潟流域ゴミ調査結果の報告や、河北潟クリーン作戦の取り組みについて紹介したほか、ゴミやリサイクルに関わる地元行政や企業の方に、それぞれの取り組みについて発表いただいた。



こが里山を守る会（茨城県）

助成金額	670,000円
活動内容	保全整備活動(下刈、倒木、立ち枯れ木伐採) 子ども参加の里山体験活動(野草観察・スズメバチの捕獲器設置) 里山の恵み体験(山栗拾い)
活動実績	4/3 植樹地の下草刈り(桜の開花) 4/10 タニウツギ植樹 4/17 立ち枯れ木伐採 5/8 下刈 5/12 上大野小児童 野草観察 5/15・6/19 下刈 6/23 上大野小児童 スズメバチの捕獲器設置体験 7/10・7/17・8/21・9/11 下刈 9/15 上大野小 里山の恵み体験(山栗拾い) 9/18 下刈 10/10 観察会(森の中のコンサート会場整備) 10/15 森の中のコンサート会場整備 10/16 観察会(コンサート)開催 10/26 上大野小 里山の恵み体験(さつま芋堀り) 11/10 上大野小 害虫被害樹木調査 11/13 害虫被害樹木の有効活用(薪材割り) 11/20 桜の苗木植樹体験 12/11・12/18 害虫被害樹木の伐採・搬出 1/8 ソメイヨシノ桜植樹 1/15 害虫被害樹木の有効活用(椎茸の原木・薪材) 2/12 椎茸の植菌作業 2/19 タニウツギの植樹



瀬戸内海宇治島クラブ（広島県）

助成金額	500,000円
活動内容	宇治島の豊かな自然を守るため、毎年海の日 に200人乗りのフェリーをチャーターし、海洋ご みの清掃を行っている。 清掃後は海水浴、釣り、島の散策を行い宇治島 の魅力を体感してもらう。
活動実績	活動日時：2022年10月2日 活動場所：広島県福山市走島町宇治島 参加人員：18名 活動内容：無人島宇治島の自然を守るため、海 浜清掃などの環境啓発活動を行うと 共に、自然とのふれあいを通じて島 の魅力を伝え青少年の健全育成を目 的としている。 その他に年3回～4回程度調査活動を行っている。



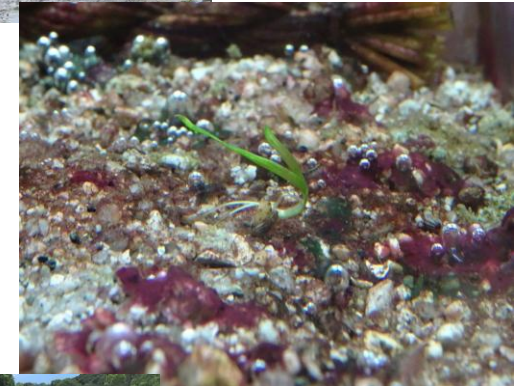
荒川クリーンエイド・フォーラム（東京都）

助成金額	2,000,000円
活動内容	企業/業界団体（日本プラスチック工業連盟）等のステークホルダーを対象とした荒川清掃研修を年間6回実施する。気軽に当該研修を体験できるプログラムを企画/運営することで活動の裾野を広げるとともに、国内から流出する河川ごみを削減する。
活動実績	▼現場活動 2/5 立教大学サービスラーニングセンターと現場活動を開催した。 場所：荒川河川敷（江戸川区-葛飾区） 参加人数：環境省および企業26社180名 内容：河川ごみの除去活動および（株）ピリカのサービスを企業に紹介した。



宮島ネットワーク（広島県）

助成金額	2,000,000円
活動内容	①アサリ浜の育成事業 ②アマモ場育成実験事業 ③宮島海岸清掃 ④小プラごみ回収機器の開発 ⑤古くなった希少植物シバナの説明看板を更新 ⑥エフピコリサイクルセンターを見学
活動実績	①アサリ浜の育成事業 参加者45名スタッフ12名 ・5/15 アサリ浜の覆い網を交換し、浜の死貝を取り除きながらアサリ掘りを楽しむ。 ・9/28 アサリ浜に流れ込む川水の流れ変更作業 ・2月～3月 アサリ浜に流れ込む川水や汚泥の流れ変更作業 ②アマモ場育成実験事業 ・宮島学園に設置したアマモの観察水槽を管理。アサリ浜沖にアマモを植えてアマモ場を育成・観察。アマモ水槽内にアマモ種を植えて発芽を実験。塩分濃度を変えて発芽に成功。苗として利用できるまでの成長が次の課題。 ③宮島海岸清掃 合計参加者159名スタッフ50名 ・海岸清掃（6/12、9/23、10/9、11/6、12/4）を実施。腰細浦海岸、室浜海岸、包ヶ浦海岸、青海苔浦海岸の計4ヵ所の清掃で731.6kgのゴミを回収。 ④小プラスチック回収機器の開発 ・開発が進まず、2023年9月までの再契約を交わす。 ⑤シバナ看板の新調設置 ・包ヶ浦公園内の汽水池そばに15年前に設置した看板の更新設置をした。新看板を11月26日に設置。 ⑥エフピコリサイクル工場の見学 参加人数15名 ・3月14日 エフピコ福山リサイクルセンターを見学



世界遺産クリーン作戦8弾 ～宮島をきれいに～腰細浦海岸の清掃 2022.6.12

みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（宮城県）

助成金額	2,000,000円
活動内容	・SDG s 教育プロジェクト広報 ・小学校からの相談と学習支援
活動実績	1 SDGs教育プロジェクトの広報 ○SDGs教育プロジェクトのリーフレットの作成と配布 ○タブレット端末の購入と学習教材のデモンストレーション 2 小学校からの相談と学習支援 (1) 仙台市立中野栄小学校・SDGsクラブ（4～6年6名） (2) 仙台市立南小泉小学校・グリーンカーテン（5年82名） (3) 仙台市立泉松陵小学校・環境（5年55名） (4) 仙台市立八木山小学校・防災（5年91名） (5) 仙台市立七郷小学校（4年133名、6年112名） (6) あすなろ学院・エネルギー（4～6年、中学1～2年21名）
活動規模 （社内参加者）	6日間 計500名



とす市民活動ネットワーク（佐賀県）

助成金額	1,000,000円
活動内容	①木育リーフレットの作成（3,000部） ②木育らんどの開催
活動実績	①木育リーフレットの作成 活動日時：2022年7月～9月 活動内容：国産材の需要拡大の為、木育とは何かを説明し、幼児期からの木製品と関わる事のメリット・効果を通して、親と子どものコミュニケーションを円滑にすることにより得られる共感や信頼感、さらに豊かな感性を育む事を支援するために作成。県内外の関係部署、幼保育園、公共施設・イベント時等に順次配布。 ②木育らんどの開催 活動日時：2022年12月10日（土）・11日（日） 場所：フレスポ鳥栖ウエルカムコート 参加人数：延1,784人 活動内容：遊具遊び（木の大型遊具・雲梯・木のトンネル・メリーゴーランド・ボーリング・ままごと他）木工体験（木の花作り・丸太切り体験他）



びわ湖トラスト（滋賀県）

助成金額	2,000,000円
活動内容	(1) 琵琶湖でのマイクロプラスチックの調査 (2) 琵琶湖岸漂着ゴミの回収と分別 本事業は、琵琶湖周辺の自治体や株式会社エフピコの社員ともコラボする。
活動実績	(1) マイクロプラスチック調査（琵琶湖） 1 トンの水を採水してマイクロプラスチックを数えるとともに、顕微鏡や赤外線スペクトル法によって分析を行った。 調査日（参加人数）：4月17日（16人）・5月22日（11人）・6月19日（11人）・7月24日（13人）・9月18日（15人）・10月23日（15人）・11月20日（11人）・1月7日（9人）・2月5日（16人）・3月12日（16人） (2) 琵琶湖漂着ゴミ調査 日時：7月30日（土）／場所：琵琶湖北湖桂浜園地 距離1.0km ／参加人数：59人（内エフピコ関係者7名）内容：湖岸に漂着しているゴミを回収し内容物を分別し、主にプラスチックゴミの計量・特定を行いました。 (3) 日本地球惑星科学連合および国際陸水学会で、君付茉優さん（高3）が研究発表を行いました。 (3-1) 日本地球惑星科学連合 日時：5月22日（日）／場所：千葉県幕張メッセ／内容：琵琶湖におけるマイクロプラスチックの個体数密度と成分 (3-2) 国際陸水学会 日時：2022年8月6日（土）～11日（木）／場所：ドイツ・ベルリン市／内容：Abundance and composition of microplastics in Lake Biwa



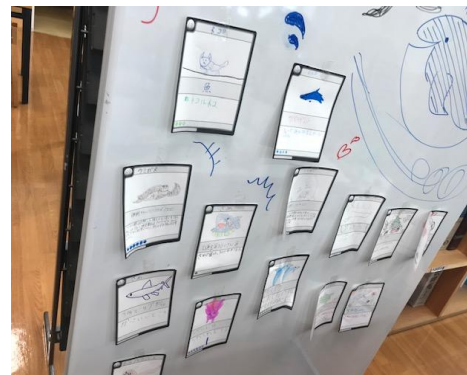
四日市大学エネルギー環境教育研究会（三重県）

助成金額	740,000円
活動内容	①SDGsを様々な視点から学び持続可能な地域づくりを考える市民講座の実施 ②地域まちづくり委員会と連携した体験型講座の実施 ③児童館・学童保育所でのESDの手法を用いた体験型講座実施 ④地域の環境課題・保全活動の撮影記録を基にした環境教育の教材作成
活動実績	①市民を対象にしたシリーズ講座「未来へつなぐSDGs」開催 第1回：5/28「地域循環共生圏と里山・里海づくり」 第2回：6/4「パンデミックとSDGsを考える」 第3回：6/11「命守る意識を育てる」 第4回：6/18「中小企業と環境マネジメント」 第5回：6/25「四日市大学食品ロス研究会の取組み～成果を地域にどう生かすか」 ②まちづくり委員会と連携した体験型講座 7/9 八郷ふれあいガーデンで野菜の種まきと田んぼの生き物観察・地区市民センターで講義 ③児童館・学童保育所・市の環境フェア等でのESD体験型講座全29講座実施 参加者873名 ④里山保全活動についての動画教材と干潟の生き物と海ごみについての映像教材を作成



SoELa（神奈川県）

助成金額	1,000,000円
活動内容	・マイアース相模湾パッケージの制作 ・体験会、ワークショップ（授業形式）最終の環境イベントまでを大学生が主体で実施し、子供向けに環境教育活動を実施します。
活動実績	全体概要として、当初小田原（相模湾）における事業実施予算として、販売可能な商品としてパッケージ1000set制作分を含む予算200万円で計画していましたが、100万円の予算に変更し、パッケージ制作を体験会使用小学校などへの寄付用として150setとした。 また、体験会などは、コロナの影響が落ち着き始めた7月以降からペースを上げて実施、小田原市のワークショップや最終のマイアースまつりも含め当初予定を大幅に上回る開催を行うことができた（当初予定体験会など6回開催、子供300名への啓発のところ、実績12回の開催、子供400名以上）。 本助成金による小田原での展開実績により、現在北九州、釧路、大阪万博共創プロジェクトなどの実施が決定した。また、札幌の環境イベントや福岡での環境イベントへの参加も決定している。また、各地でのプレゼンテーションにおいて、貴社の助成で実施した旨アピールしており、可能であれば貴社との連携を各地で展開していきたい。 マイアースまつりにおいて貴社に協賛品のご提供、当日のご見学などにご参加いただきありがとうございました。



フードバンクさが（佐賀県）

助成金額	530,000円
活動内容	①「食の大切さを学ぶ農業体験会」定期的な農業体験と料理の場を設ける ②「収穫協力」価格変動や人手不足等の理由で処分せざるを得ない農産物を生産者と協議して一般家庭や大学などの連携を行うことで収穫し活用する。収穫物はフードバンクが支援団体を通して困窮世帯などに提供する
活動実績	10月13日（木）ピーナッツ収穫 4人 10月14日（金）ピーナッツ収穫 3人 10月15日（土）ピーナッツ乾燥 3人 10月19日（水）さつま芋一部収穫 4人 10月26日（水）ピーナッツ・さつま芋乾燥、今後の畑活用とこども食堂への提供について打ち合わせ 3人 10月28日（金）さつま芋収穫準備 3人 10月30日（日）収穫祭開催 25人 11月 1日（火）ピーナッツ・さつま芋提供準備 3人 11月以降の提供日 フードバンクにて、こども食堂等の食支援団体へ収穫物の提供開始 12団体 11月30日（火）佐賀市富士町・三瀬村の給食センターにさつま芋提供 3人 12月 3日（土）余剰のさつま芋を冬の間保管するべくビニールハウス内に穴を掘って埋めた。 4人 12月10日（土）トマト畑の片付け作業に参加 4人 1月15日（日）最後のさつま芋提供のため貯蔵していた芋を掘り出し 4人 1月25日（水）こども食堂に水田氏と佐賀ブルーナーズの方と共に訪問。さつま芋を提供し食の大切さについて講話を行った。 33人 2月11日（土）ジャガイモの定植のため畑作り 4人 2月22日（水）ジャガイモ定植のため種芋準備 3人 2月25日（土）佐賀県立高志館高校の方々と共にじゃが芋定植 15人 3月 9日（木）ジャガイモ畑のアライグマ対策のため電柵の点検と整備作業 4人 3月21日（火）ジャガイモ畑の点検と苗代作りのお手伝い 3人 3月29日（水）ジャガイモ畑でアライグマ対策 4人

